

2026 年 2 月 27 日 記者会見 発表内容

発表内容：役員異動について

日 時：2026 年 2 月 27 日（金） 16 時 00 分～16 時 30 分

場 所：日本銀行 記者クラブ内

発 表 者：りそな銀行 代表取締役社長

岩永 省一

りそな銀行 常務執行役員

千田 一弘

【冒頭挨拶】

（岩永）

りそな銀行の岩永でございます。本日、ご多忙の中お集まりいただき、誠にありがとうございます。昨日、りそな銀行の取締役会、そして本日のりそなホールディングスの取締役会におきまして、現在常務執行役員である千田一弘の新社長就任を決定しましたので、お知らせいたします。また、私は代表権がない取締役会長に就任します。まだあと 1 ヶ月残っていますが、まずは 2020 年 4 月から 6 年間、これまで、ステークホルダー、地域のお客さまに、ご支援いただきましたことに、この場を借りて、深く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

私が就任した 2020 年 4 月は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の真ただ中でスタートしました。りそな銀行というのは、りそなグループの中核銀行ですので、地域経済を支え、またお客さまに新しい価値を提供することを第一に考え、そのために様々な改革に取り組んできました。一にも二にも、私たちの従業員が、お客さまの価値を高めるため「お客さまの成功のために何ができるか」を考えてきた 6 年間だったと思います。今まで取り組んできたことについて、横にいる千田は、私と一緒に、改革を進めてきた人物ですので、りそな銀行の理念を大事にしながら、これから先も「お客さまのために何ができるか」ということを念頭にリーダーシップを発揮し、スピード感を持って、今後もお客さまへのこまりと解決に向けた取り組みを進めてくれると思っています。また、私も引き続き、取締役の立場で新しい経営陣を支援するということをしっかりとやっていきたいと考えています。

（千田）

まずは夕刻のお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。4 月から、りそな銀行の社長を務めさせていただきます千田と申します。よろしくお願いいたします。

りそな銀行は現社長である岩永の強いリーダーシップのもと、「顧客最適」の実現のために様々な改革を行い、体制を整備してきました。来年度からは、岩永の想いを引き継ぎ、私がその改革を実現していく役割を担っていきます。

りそな銀行は、全国に店舗を展開する「商業銀行としての機能」と「信託としての機能」を備えた広域商業信託銀行です。全国の法人・個人のお客さまとの強い結びつき、これが我々の強みだと理解しています。私は、営業経験が長いので、その経験を活かすためにも、まずはお客さまと直接お会いさせていただき、より深い関係性を構築していきたいと考えています。そして、お客さまと接している営業現場、そして営業現場をサポートする本部組織をしっかりと強化していく考えです。また生成 AI やデータの利活用については、スピード感をもって進めていきます。ただ、最後の他社さまとの差別化はリアルでの人財の強さだと認識していますので、人財への投資は引き続き積極的にやっていきたいと考えていま

す。そして、我々がお客様の成長に向けた挑戦に、お客様とともにリスクテイクをすることで、お客様の成長に伴走する銀行になりたいと考えています。

次に、我々のマザーマーケットである関西経済についても少し触れさせていただきます。昨年 10 月に我々がメインバンクを務めさせていただいた大阪・関西万博が、地元の皆さまのご協力やご尽力もあり、成功裏に閉幕しました。今後は、その「万博のレガシーをいかに関西経済の持続的成長に繋げられるか」が問われていると思いますので、我々もその役目をしっかり果たしていきたいです。

最後になりますが、4 月からは、次期中期経営計画がスタートします。「金融+で、未来をプラスに。」というグループパーパス実現のために、りそな銀行は、お客様の成長、挑戦を支えられる銀行になるという固い決意で進んでいきたいと思っていますので、ぜひ今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。

以 上